



目に見えない大切なもの

校長 館岡和人

五中祭までの準備時間が少ないということで、例年より2日早く夏休みを切り上げて一学期後半が始まりました。来月3日の一学期終業式までの約一カ月半の間に五中祭、市郡秋季大会、祝日やその振替等があり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。気持ちが充実している時の時間は、「え？」と思うくらいの速さで過ぎ去っていきます。

「時間は誰にでも平等に流れていく」と言われます。私自身もそう信じ、それについて何の疑いも持ちませんでした。しかし、この頃、月日が以前よりも増して早く過ぎるように感じられてなりません。しかも、思い出の方はそれと反比例するかのように心に宿りにくくなっています。前と比べて時間の流れは全く異なるものということなのでしょうか。

◆ 合掌していますか

おそらくほとんどの家庭には仏壇か神棚があるのではないのでしょうか。その仏壇か神棚に向かって手を合わせて拝んでいる人は家族の中に誰かいますか。私はやっていませんが、私の亡くなった父や祖父は毎日のように神棚を拝んでいました。柏手を打った時に出る「ば～ん」という音は、家中に響いていました。懐かしさを感じます。

「今日一日の無事」と「日頃の感謝」に対して仏壇や神棚に手を合わせると不思議と気持ちが落ち着き、爽やかになるそうです。この手を合わせることを合掌と言います。

◆ 未来に繋ごう

私たち一人一人は今こうして元気に生きて生活していますが、この生命は両親からいただいたものです。その両親は、またそれぞれの両親(祖父母)から生命を受けました。このようにして、ずっと両親をさかのぼって過去十代までさかのぼって計算すると1,022人[両親2人 両親の親(祖父母)4人 祖父母の親(曾祖父母)8人 そ

のまた親(高祖父母)16人 32人 64人 128人 256人 512人]という数になります。十代前と言うと約400年前で宮本武蔵と佐々木小次郎が巖流島で決闘した頃(1612年)になります。それ以前からとなると想像もつかない先祖の数になります。

その多くの先祖のうち一人でも欠けていけば、今の皆さん方は「この世にはいない」ということになります。一つの生命が消えるということは、これから生まれるであろう無数の命を消すことになります。生命誕生からの40億年にも及ぶ「生命の鎖」は消してはいけません。これから続くであろう生命に思いを馳せ、未来に命を受け継ぐことが私たちの使命です。

「人」という動物は地球上に74億人もいます。その一人が日本という国に生まれ、今ここにいる自分であると考えたら、とても不思議な気持ちが出てきます。とてつもなく大きな大きな力によって生かされていると思わずにはいられません。

◆ 合掌することで見えるもの

「星の王子さま」という本の中に「本当に大切なものは目に見えないんだ。心で見なくちゃいけないんだ」とあります。合掌することによって、本当に心が落ち着き自分の目が内側に向けられ、大切なものが見えてくるきっかけになると思います。自分がなぜ、誰によって生かされているのか。これから自分はどう生きたらよいのかなど、日頃あまり考えていないことが頭に浮かんできます。これが反省となり、感謝となり、新しい意志や決意を生み出すきっかけになるのです。

食事の時や毎日の給食の時「いただきます」「ごちそうさまでした」と合掌しています。何気ない行動のようですが、こうして実際に合掌という行動を通して人や自然、物を大切に作る心が芽生え清らかな気持ちが生まれてきます。一日に一回は自分を見つめ直す機会として、せめて心の中で合掌してみてもはどうですか。

今月は「敬老の日」と「秋分の日」の二回の祝日がありました。この機会に、目に見えない大切なものは何か考えてみましょう。

市郡秋季体育大会結果

[団体]

(9/15～16)

- バスケット男子 優勝 ※全県大会出場
- バスケット女子 優勝 ※全県大会出場
- 卓球男子 第3位
- 野 球 1回戦敗退
- バレーボール 予選リーグ敗退
- 剣道男子 第3位 ※全県大会出場
- 陸上競技(9/9) 男子総合 第1位
女子総合 第3位
- ソフトテニス 第2位



[個人] (入賞者)

- 卓球女子 第3位 島崎 皐 ※全県大会出場
 - 柔道男子 優勝 小玉亮太 ※全県大会出場
第3位 沢田石柁介 ※全県大会出場
 - ソフトテニス 1年 優勝 加藤陽菜・小玉杏里(*全県出場)
" 第3位 島山優香・野里 怜
" " 小玉杏南・石井音羽
 - 陸上競技 第1位 男子共通3000m 加藤竜聖(*全県)
" 男子2年1500m 加藤竜聖
" 男子共通200m 嶋崎勝太郎(*全県)
" 男子共通400m 伊藤 凌(*全県)
" 男子2年100m 伊藤 凌
" 男子共通400m R (伊藤凌, 佐々木, 嶋崎, 伊藤啓太)(*全県)
 - 第2位 男子共通200m 佐々木崇晃(*全県)
" 男子共通400m 嶋崎勝太郎
" 男子2年1500m 小玉 翠(*全県)
" 男子共通800m 小玉 翠
" 男子1年100m 伊藤啓太(*全県)
 - 第3位 男子共通200m 伊藤啓太
" 男子1年1500m 大石英治(*全県)
" 女子共通100m H 三浦波音(*全県)
" 女子1年1500m 澤田石真子(*全県)
" 女子1年400m R (八柳, 三浦, 嶋崎, 澤田石)(*全県)
- ※次の選手も全県大会に出場します。
- 陸上競技 男子1年100m 武田佑汰
男子共通400m 畑澤佑月
男子共通3000m 小玉 閃
男子1年400m R 島山夢翔
女子共通200m 八柳風花
女子共通800m 嶋崎雪羽

◎その他の大会・コンクール

- 男鹿潟上南秋中学校英語暗唱弁論大会(8/29)
1年生の部 第3位 小玉 閃 舘岡駿来
佐藤文美 野里 怜

全国学力・学習状況調査の結果

3年生対象, 4月17日実施, 数字は通過率(%)

	本校	秋田県	全国
国語A(主として知識)	81	80	76.1
国語B(主として活用)	67	66	61.2
数学A(主として知識)	72	70	66.1
数学B(主として活用)	53	51	46.9
理科	71	70	66.1

◆国語について

・A, Bともに県平均と同程度となっています。
・全体として, 基本的な力が身に付いてきていると考えられます。特に言葉に関する知識が定着しており, 県平均を大きく上回っています。

◆数学について

・A, Bともに県平均を上回っています。
・全体的に, 基本的な力が身に付いてきています。特に「図形」に関する問題では知識, 活用ともに県平均を上回る結果となっています。

◆理科について

・「知識」に関する問題の通過率が県平均をわずかに下回り, 「活用」に関する問題は県平均を上回っています。
・自然事象への関心・意欲・態度は県平均を大きく上回っています。一方, 知識・理解の定着に課題が見られます。

【生活や学習に関する調査から】

・地域の行事に参加している生徒が本校48.5%, 県平均57.5%と少なくなっています。
・平日に2時間以上勉強している生徒は, 本校が10.6%, 県平均が30.9%となっています。

登下校時や外出時の危険を回避

小学生が車に連れ込まれるなど, 身近なところでも生徒の安全を脅かす事件が発生しています。一人で帰らないこと, 危険を感じたら安全な場所に逃げることを学校では指導しておりますが, ご家庭でも危険回避の方法や約束について話し合う機会を設けるよう, お願いいたします。

10月から部活動の終了時刻が変わります

7月にお知らせしていたことですが, 10月からの部活動について, 男鹿潟上南秋の教育委員会で, 次のとおり基準を定めました。

- ・平日は少なくとも1日, 土・日の週末も少なくとも1日以上の休養日を設ける。
- ・活動時間は長くとも平日は2時間程度, 学校の休業日は3時間程度とする。

10月の部活動終了時刻は18:30, 完全下校は18:45になります。なお, 11月以降については従来どおり18:30完全下校です。